



世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、
5月4日(月・祝)、7月20日(月・祝)は開館、5月7日(木)、7月21日(火)は休館
観覧料 | 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上/中小生
110円(90円) * ()内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は110円(90円)、
ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*世田谷区内在住・在学の小・中学生は
土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

上:《イエローバランス》1951年 下:成城のアトリエ 1972年頃

清川泰次

アトリエの記憶

2026

4/1[Ⓜ]

—
9/6[Ⓜ]



Kiyokawa Taiji : Atelier memories

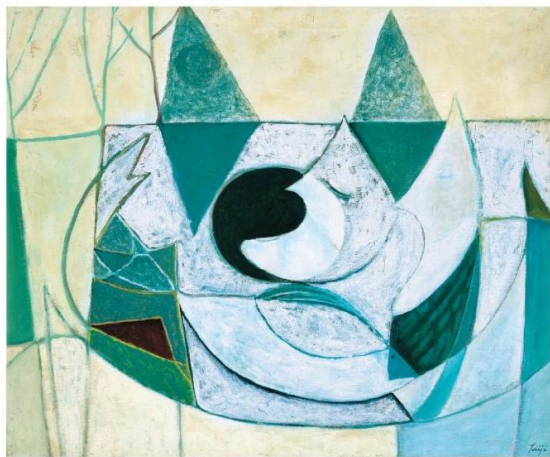
対象を写しとることにとらわれない独自の抽象表現を探索し続けた、静岡県浜松市出身の画家・清川泰次(1919-2000)。1940年代後半まで、妻の実家がある同県の二俣町で作品制作に取り組んでいた清川は、二科展に初入選した後に、浜松を離れ、1949年に東京・成城に自宅兼アトリエを構えます。入居当初、木造だった建物は、1961年には清川の趣向を反映してコンクリートブロックをあしらった造りに姿を変えました。当時の個人住宅では極めて珍しくモダンなスタイルであり、50年代前半に渡米し、高層ビルが立ち並ぶシカゴに滞在して新しい芸術の潮流に触れた清川ならではの趣味がうかがえます。約50年にわたり、清川は自身のアトリエを深く愛し、ここで多くの作品を生み出しました。

清川の没後、建設当初の意匠を活かし、世田谷美術館分館・清川泰次記念ギャラリーとして清川の作品を継承する場となっているこの建物は、コンクリートの耐用年数による劣化のため改築を予定しています。

本展では、諸資料とともに1940年代から2000年までの作品をご覧いただき、この地で清川泰次がたがやし続けた創造のすがたを、味わっていただければと思います。



左上:「TAIJI KIYOKAWA ART STUDIO」1951年 上:成城のアトリエ 1960年代



《飯面のある》1953年



《Painting No.12000》2000年



《赤い海》1950年代

イベント情報 担当学芸員によるギャラリートーク

清川の画業やアトリエについて担当学芸員が解説いたします。ぜひご参加ください。

■ 4月25日(土)11:00～ ■ 5月30日(土)11:00～

*いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前予約不要

*6月以降も実施予定です。詳細はギャラリーのウェブサイトをご覧ください。

清川泰次記念ギャラリーは、施設老朽化のため改築工事を予定しております。詳しくは世田谷区ホームページをご覧ください。



世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202
http://www.kiyokawataiji-annex.jp/
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

Instagram
ぜひご覧ください!



TAIJI KIYOKAWA ANNEX

展覧会の様子や、庭の四季などの情報をお届けしています。



©宮本和義

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
http://www.mukaijunjichi-annex.jp/



©上野別宏

向井潤吉の滞欧体験 ―若き研鑽の日々、そして民家へ
2026年4月1日(水)～9月6日(日)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
http://www.miyamotosaburo-annex.jp/



©宮本和義

宮本三郎 水辺をめぐる
2026年4月1日(水)～9月6日(日)



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
https://www.setagayaartmuseum.or.jp/

同時開催展

企画展

開館40周年記念 世田美のあしあと ―暮らしと美術のあいだで 2月21日(土)～4月12日(日)

田中信太郎 ―意味から遠く離れて 4月25日(土)～6月28日(日)

ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙 ―川田順造・小川待子コレクション 7月11日(土)～9月6日(日)

ミュージアム

コレクション

武蔵野・再考 ―写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真 5月2日(土)～7月26日(日)

気になる、こんどの収蔵品 ―作品がつれてきた物語 8月8日(土)～10月25日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。